

C-43 簡易化による被服構成の研究(第18報) — ヤール幅の単長着経済裁 —  
島根県立女短大    〇岡   稜子   野津祐子

目的 広幅地(シングル幅・ヤール幅・ダブル幅)の出まわっている現在、着尺地ではえられない素材の風合いや、おもしろさ・柄を二わさない等、ヤール幅布地特有の効果的布使いをして、着やぶく、美しく、着用後のよごれの処理も簡単(洋服同様クリーニングもできる)で現代に適した長着を製作したいと考え、その製作実験を試みたので報告する。(今回はヤール幅について)

方法

モデル寸法：身丈 156 cm    袖丈 51 cm

用布量：ヤール幅で 2m 10 cm

④ つまみ社(指導書)

⑤ 縫目なし(前胴接ぎ)

⑥ 縫目なし(後胴接ぎ)

} 以上3種の方法について製作実験も行なった。

結果

1) ⑤と⑥の方法は脇・袖つけに縫目がないので柄がほとんどくずれない。

2) ⑤の方法は胴接ぎの高さに制限があり、袖丈との関係を考慮する必要がある。

(43 cm以下または51 cm以上……御端折に接ぎ目を出さないため)

3) ⑥の方法は胴接ぎの高さ・袖丈との関係を考慮する必要がない。

4) ⑤⑥の方法は種数が少なく、用布が経済的で、仕立てに時間がかからず、洗たくが早くてかわきが早い。